

小金井市議会 議長 鈴木成夫様

令和5年5月9日
小金井市手をつなぐ親の会
畑佐枝子
小金井市東町

障害者支援施設を小金井市内に作ることを求める陳情書

【陳情要旨】

厚生労働省が平成28年に実施した『生活のしづらさなどに関する調査』によると、65歳未満の知的障がい者の92パーセントの方が親御さんと同居しているというデータが出されていますが、小金井市も例外ではありません。同調査で精神障がい者では67.8パーセント、身体障がい者は48.6パーセントでした。（令和4年実施の調査結果は令和5年度中に発表の予定）

現在、小金井市に居住する障害者は、ご本人も介護するご家族も高齢化が進んでおり、日中通所することが負担になってきている方が増えてきていますし、介護しているご家族の中には介護することに限界を感じている方も増えてきました。

しかし、施設入所の希望を申し出ると遠方への入所をすすめられてしまうことから、申し出られない方がいます。

都内では、自宅での介護が受けられなくなった障害のある方が遠方の共同生活援助施設に入所された事例を多く聞き、ご家族の身を割かれる切実な思いを伺ったこともあります。ご本人の障害特性により長距離の移動が困難なため、お盆やお正月に実家に帰ることができない、ご家族の体調等により施設に会いに行くことができず、今生の別れとなった事例もあります。

市内には市民が優先的に入所できる施設がなく、他自治体や都外の入所施設を探すことに大変な労力を要しております。近隣市を探しても自治体の市民が優先でなかなか入所施設は見つかりません。

高齢の親御さんが重度の障がいをもった子どもと、一生を自宅で同居することは大変なことです。また、親が病気で倒れたり亡くなったりした後のことを考えると、心配で心が休まることはありません。

小金井市民にこのような辛い思いをさせることにならないようにしてください。

また、特別支援学校卒業後の重度知的障がい者の日中活動の場も不足している現状で、毎年事業所を探すのに苦労しています。

障害のある方が、ご家族と同居しなくなっても、生まれ育った地域で、いつでもご家族と会うことができる場所に住んで、知っている人たちに囲まれて安心して暮らしていくことができるように、環境の整備をしていただきたく、以下を陳情いたします。

ご理解の上採択いただきますよう、お願い申し上げます。

【陳情事項】

◎障害者支援施設を小金井市内に作ってください。